



高校生は原発災害を どう伝えてきたか

2022年 **8月21日(日)** 14:00～16:00

対象 教職員・学生・市民（先着30名で締め切ります）

参加される方は大森直樹 (omori@u-gakugei.ac.jp) までご連絡ください。
先着30名以内の方には実施日の13:30頃にズームのURLをお知らせします。

講師

わた のべ よし ひろ
渡部 義弘さん

福島県公立高校教員。2015年3月に相馬高校放送局OG・OBと相馬クロニクルを立ちあげる。

相馬高校放送局と相馬クロニクル

高校生の視点で震災と原発災害を伝える活動が続ける。2013年、高校生として初めて日本ジャーナリスト会議特別賞、第60回NHK杯全国高校放送コンテストテレビドキュメント部門優勝。是枝裕和との共同制作過程を描いた「明日へー支えあおう 是枝監督×女子高生 ～震災3年 福島を描く」は第31回 ATP賞ドキュメンタリー部門奨励賞、2015年度国際エミー賞・子ども向けノンフィクション部門最終ノミネート。

子どもは原発災害とどう向き合ってきたのか。教職員をはじめとするおとなにはどのような課題があるのか。福島県立相馬高校放送局の元顧問として、相馬クロニクルの一員として、高校生が作成した映像ドキュメント・音声ドキュメント・音声ドラマの上映を行ってきた渡部義弘さんをゲストにお迎えして、オンラインの講演会と上映会を催します。上映作品は「みなみ風吹く日」「緊急時避難準備不要区域」ほかを予定しています。